

漁村女性グループの掘り起こし

(水産庁、離島漁業再生支援交付金支援事業)

鹿児島地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

十島村においては、漁獲物の付加価値の向上のために特産品としての加工品の開発が求められているが、その担い手が不在である。このため最も漁獲量の多い中之島において水産物の加工や販売を目的とした女性グループを結成し、離島漁業再生支援事業等を活用しながら活動を促進していくこととした。

【普及の内容・特徴】

グループ結成に向けた説明会や加工品開発研修を行いグループ化を促進した。グループ結成後は加工品の試作と商品化を行い販売活動を行った。

これにより、地元水産物の加工とコミュニティ施設内の販売スペースを利用した販売活動の広がりが期待される。

取り組み事項	実施時期	出席者	内容
①加工品開発等説明会	平成23年5月24日	中之島在住者 12名, 村, 漁協	加工品開発の必要性, 女性グループの結成, 加工施設の整備計画等について説明
②加工品試作及びグループ化検討	平成23年8月23日	参加予定女性7名, 村, 漁協	加工品の試作を行うと共に女性グループの結成について説明し, 合意を得た。
③「中之島加工販売グループ」結成	平成23年12月6日	参加予定者6名, 村	グループ規約と活動計画が承認され, 加工品の製造販売を行った。
④加工品製造・販売活動	平成24年2月11日	グループ構成員 7名	「さかなみそ」を製造し販売を行った。

【成果・活用】

1 グループの概要

- (1) グループ名：中之島加工販売グループ
- (2) 構成員：8名（代表 町田千秋）
- (3) 活動内容：中之島における地域水産物等の付加価値向上と販売物の多様化による事業収入の増加を図る。
- (4) 活動の実績
 - ①さかな味噌及び魚味噌漬けの商品化
 - ②商品の販売活動

2 今後の課題

十島村では平成24年度に水産加工施設が整備されることから、当該グループが中核となって加工体制を構築していく必要がある。



図1 加工品開発等説明会



図2 加工品試作検討会

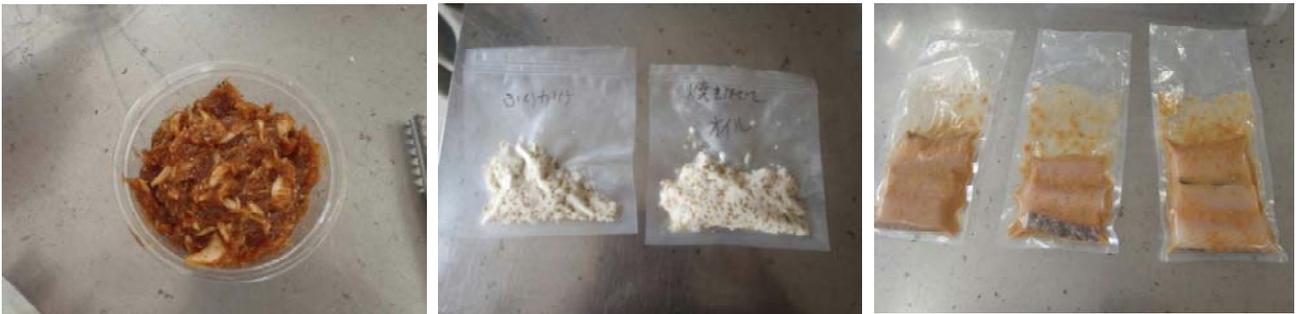


図3 試作加工品（左：さかな味噌，中央：焼きほぐし及びふりかけ，右：味噌漬け）



図4 さかな味噌漬け（メダイ）



図5 さかな味噌（キハダ）



図6 販売活動



図7 中之島加工販売グループ